

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	小田原養護学校湯河原・真鶴方面分教室	階数	地上2F
建設地	神奈川県足柄下郡湯河原町中央二丁目21-3他	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,700時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年2月1日
敷地面積	2,479 m ²	作成者	(株)洋建築企画
建築面積	1,167 m ²	確認日	2019年2月20日
延床面積	2,048 m ²	確認者	(株)洋建築企画



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.4

項目	スコア
Q1 室内環境	3.2
Q2 サービス性能	3.3
Q3 室外環境(敷地内)	3.8

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.4

項目	スコア
LR1 エネルギー	3.5
LR2 資源・マテリアル	3.4
LR3 敷地外環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
小田原養護学校の分教室を湯河原町に新築する。		
Q1 室内環境 屋光率は2.5%以上である。内装仕上げ材料にF☆☆☆☆を全面的に使用する。	Q2 サービス性能 内装仕上げに防汚性の高い材料を使用している。構造体Ⅱ類の仕様なので重要度係数=1.25である。	Q3 室外環境(敷地内) 古くからの温泉保養地のイメージに沿って木格子(木目調ルーバー)を強調した外観とする。又、低層の建物として周囲の住宅街の景観と調和するようにする。地域の既存植生の合わせた植栽計画とする。
LR1 エネルギー 高効率の電気設備機器(LED照明器具)を使用する。	LR2 資源・マテリアル P R T R法に該当しない建材種別が1つある	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ は排出率=90%となっている。砂塵のたたないゴムチップ舗装としている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される